

令和6年度第2回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（1日目）

日 時：令和6年9月13日（金）

午後6時～8時

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、安田委員、小山内委員、秋元委員、伊藤委員、佐藤（信）委員、
神委員、佐藤（綾）委員、工藤委員、中野委員、一條委員、山木委員

事務局 土岐課長、齊藤課長補佐、山崎総括主幹、菊池主幹兼協働推進係長、葛西主査、
工藤主事、比内主事、佐々木主事、吉田主事

2 審査方法

（1）一般部門

1 事業ごとに申請書類及び公開プレゼンテーションの内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに1人100点満点（10項目×10点）で採点を行う。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

【補助金の交付決定を受けた回数が0～2回】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の各審査項目の平均点が3点以上

【補助金の交付決定を受けた回数が3回以上】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の「公益性」、「将来性」、「費用の妥当性」の審査項目の平均点が6点以上
- ③出席委員の「必要性」、「実現性」の審査項目の平均点が3点以上

（2）スタート部門

1 事業ごとに申請書類の内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに事業の適否を判断する。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

3 審査結果

- ・一般部門 6 事業中 3 事業
 - 採択事業 3 事業
 - 不採択事業 0 事業
- ・スタート部門 5 事業中 2 事業
 - 採択事業 2 事業
 - 不採択事業 0 事業

《審査内容》

一般部門

事業番号	6	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	手作りケア帽子でゆるくがん患者さんを応援!!もっと知ろう乳がんのことを!!		
団体名	ほほえみネットワーク		

【主な意見】

- ・共感を得られやすい活動だと思うので、応援の輪を広げるために医療関係に寄付をお願いしたり、企業の地域貢献として手芸店やホームセンターなどにタオルなど材料の寄付をお願いすれば良いと思う。
- ・患者の家族も患者と同じように辛い思いをされており、共有できる場を探している方も多いため、患者と家族の会に広げることで、ネットワークも広がり、団体の活動もしやすくなると思う。
- ・この活動を目にするすることで、検診に行くきっかけになるなど、がんに対する意識啓発にもつながると思うので、活動の認知度を上げていていただきたい。

【審査結果】

合計点 81.4点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 ,
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点 ⇒採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.6
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	9.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	9.0
合 計		81.4

《審査内容》

一般部門

事業番号	5	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	戯曲「home」リーディングドラマ上演		
団体名	創造結社 ばふらっと		

【主な意見】

- ・演劇を作り上げる過程を、市民と協働して作り上げていく形で行うということなので、公演本番への期待を高められるような仕掛けづくりをしていただいて、会場が満員になるよう、頑張ってください。
- ・新規就農し、苦勞しながら頑張っている若い世代の方々にも見ていただきたい。そういう人たちの力になるような作品に作り上げてほしい。
- ・本公演の後に、アフタートークとして実際に農業の問題を話し合う場を作られるということで、この地域の問題を深く市民の皆さんにお知らせできるきっかけになると思う。新しい演劇というのをぜひ実現してほしい。

【審査結果】

合計点 75.2点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合計		75.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	4	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	鬼檜地域「歴史と伝説の里づくり事業」		
団体名	歴史と伝説の里「鬼沢の会」		

【主な意見】

- ・制作の段階から色々な人に関わってもらい、歴史的な資料だけでなく各家庭で撮られた大事な写真など楽しんで発掘してもらえれば、地域の方々もワクワクするものができるのではないかな。
- ・広報誌を4回に分けて発行するのであれば、すべて集めると1つの絵になるなど面白い仕組みがあれば、後で読み返すなどして保管してもらえるのではないかな。
- ・自分たちの歴史や伝説を長く伝えていくことを目標として、地域の仲間を増やすために内側に目を向けた事業だと思うので、広報誌を発行して終わるのではなく、新しい人材の発掘につながるように、フォローや過程を大事にして取り組んでいただきたい。

【審査結果】

合計点 76.2点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 , 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点 ⇒採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合計		76.2

《審査内容》

スタート部門

事業番号	⑥
事業名	第3回 弘大カップ
団体名	弘前大学将棋部

【主な意見】

- ・周知について、ポスターを配るだけでなく初心者や未経験者が参加できるように、参加者を積極的に集める取り組みも行ってほしい。
- ・将棋をしているベテランの方も多いので、子どもたちと高齢者の方が将棋を通じて触れ合う機会が作りやすいと思う。回を重ねるごとに世代間交流も取り入れると地域づくりに近づいていくと思う。
- ・未経験者が500円を払って参加するのかが少し気になったので、未経験者が来やすい仕掛けがあったほうがよいと思う。
- ・大学生が企画する大会なので、景品に大学生ならではの楽しめるものなどがあるとより面白いのではないかと思う。

【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）

《審査内容》

スタート部門

事業番号	⑤
事業名	Fighters Crossover 青森 -SP-
団体名	Fighters Crossover 青森

【主な意見】

- ・ e スポーツという言葉は聞いたことがあるが、専門の方が集まってやっているというイメージがあり敷居が高い。認知度が高まると、盛り上がると思うので、今回の事業では裾野を広げることにはぜひ注力していただきたい。
- ・好きな人だけの集まりだと言われたいよう、どのようにすれば初心者や興味のある方に伝わるのか、参加しやすいような大会に見えるのかなど、見せ方・伝え方に工夫してほしい。例えば、「初心者歓迎!」「しっかり教えます!」など、コピーをしっかりと書いていただきたい。
- ・自分自身、友達がゲームをしているのを見てきたので、観戦なら行きたいと思った。また、観戦しに来て、やってみたいと思う人が生まれるということもあると思うので、プレイヤーと観戦する人を分けていたのはすごく良いと思った。
- ・観戦のみの人はお金を払わなくても良いと思う。
- ・最近が高齢者にも良いと言われており、競技性だけではなく様々な方に幅が広がる可能性があると思うので、いろいろな方に経験していただきたいし、そういった方々の入り口になるような大会としてほしい。

【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）

令和6年度第2回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（2日目）

日 時：令和6年9月14日（土）

午前9時30分～11時10分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、安田委員、相馬委員、小山内委員、秋元委員、伊藤委員、
佐藤（信）委員、神委員、佐藤（綾）委員、工藤委員、中野委員、
一條委員、山木委員

事務局 土岐課長、齊藤課長補佐、三上総括主幹、菊池主幹兼協働推進係長、
対馬係長、工藤主事、比内主事、佐々木主事、吉田主事

2 審査方法

（1）一般部門 1日目同様

（2）スタート部門

1事業ごとに申請書類の内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに事業の適否を判断する。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

3 審査結果

- ・一般部門 6事業中3事業
 - 採択事業 3事業
 - 不採択事業 0事業
- ・スタート部門 5事業中3事業
 - 採択事業 3事業
 - 不採択事業 0事業

《審査内容》

一般部門

事業番号	1	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	不登校の子に関わる保護者、学校関係者、その他へ向けた講演会の開催		
団体名	不登校を支える親の会		

【主な意見】

- ・親もこもりがちになるので、親が情報交換できるような場を作り、お互い支え合って子どもが自立して生活していく道筋を探っていける環境があれば、当事者の方々の力になることができるのではないかと。
- ・不登校の子に付き添い、親が仕事を休まざるを得ない状況もあるため、企業側にも講演会を聞いてもらい、テレワークなど職場環境を整備する状況が整っていけば、社会全体の理解も深まっていくと思う。

【審査結果】

合計点 80.6点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合計		80.6

《審査内容》

一般部門

事業番号	3	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	子どもの教育環境向上プロジェクト		
団体名	E.らぼ		

【主な意見】

- ・オランダの教育の良いところを取り入れることは差し支えないと思うが、日本とオランダの社会的な背景の違いなどを実施する側として熟知し、団体が求める内容をはっきりさせる必要があると思う。
- ・教育に関しては様々な意見や考え方があるので、参加する方に団体の思いを理解してもらうための伝え方やアプローチの仕方を工夫することで効果につながっていくと思う。
- ・今回の事業を実施するだけでは子どもたちや先生方の考え方がどう変わっていくのかを判断することが難しいと思うので、最終的にどこまでたどり着きたいのかといった方針のロードマップを作りながら実施したほうがわかりやすいと思う。
- ・教育の効果測定はとても難しいので、本当に子どもたちの自己肯定感を高めたいのであれば、学校での時間だけではなく家庭での時間も考える必要があると思う。事業実施後の計画が昨年度も今年度も少し甘いと思うので、頑張っていたきたい。

【審査結果】

合計点 65.2点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.6
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.2
合計		65.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	2	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	「食べる力をケアで支える」を学びあうフォーラム（たべがくフォーラム）		
団体名	かへるべ！津軽		

【主な意見】

- ・介護の経験があるが、当時は誰に何をどのように相談したら良いのか、また、姿勢や道具、咀嚼しやすいような工夫、口腔ケアの仕方などについても全くわからなかったもので、このような事業はとても貴重で、重要な取り組みだと思う。
- ・周知の際に専門的な言葉を使ってしまうと、一般の方には伝わりづらいと思う。介護に携わる専門職だけでなく、一般の方が来ても良いイベントだということが伝わるよう、わかりやすいキャッチーな言葉を使用するなど、工夫していただきたい。
- ・介護事業所の送迎バスにチラシの掲示をお願いするなど、一般の家庭で介護されている方や高齢者の家族等、必要としている方に届くような周知先を色々と考えていただきたい。

【審査結果】

合計点 81.4点 \geq 60.0点，各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合計		81.4

《審査内容》

スタート部門

事業番号	③
事業名	管理栄養士と学ぶ介護食教室
団体名	すこやかめし

【主な意見】

- ・今回の3次募集の一般部門において、要介護者等への食支援に関する申請があったため、今後も活動を続けていくということであれば、それらの団体とコラボしてどんどん繋がっていけばよいと思う。
- ・とても重要で必要なことであり、悩んでいる方も多くいると思うので、すぐ定員に達すると思う。募集が多かったときに、もう少し拡大するなど工夫してほしい。

【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）

《審査内容》

スタート部門

事業番号	④
事業名	岩木 みんなの食堂 ひだまり
団体名	岩木 みんなの食堂 ひだまり

【主な意見】

- ・学生ボランティアに協力してもらうのであれば、開始時期が11月からでちょうど冬期間に入るので、岩木までの交通手段を確保すると良いと思う。また、冬休み明けの試験があったり、2～3月は長期休みに入るので、事前の十分な調整が必要だと思う。
- ・対象者が岩木地区住民及び弘前市民となっているが、居場所づくりなので、岩木地区住民対象としても良いのではないかと考えているのであれば、岩木地区という地域性を出した方が、岩木の企業からの協賛であったり、岩木の農産物の販売所から食材を提供していただくなど、岩木地区の方の協力を得られやすいと思う。
- ・初めてだと行きづらいという方もいるようなので、行きたいと思える要素を取り入れてはどうか。例えば岩木の有名な特産物を取り入れたり、子供向けであればゲーム（レクリエーション）を用意したり、一般の方も一緒にということであれば、制作体験などがあると楽しいと思う。
- ・活動を継続していくために、サポーター制度など、運営資金や材料の提供を得られるような仕組みを考えていただきたい。そのためには、利用者だけでなく、協力してくれる地域の方にも活動をよく知ってもらうことが大事だと思う。

【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）

《審査内容》

スタート部門

事業番号	①
事業名	ふとうこうの見方が変わるお話会
団体名	とりの会

【主な意見】

- ・ヒロロの多世代交流室Cは本当に小さいので、そこで10名だけに講演会を開催するのはもったいないと思う。講演はもう少し大きい規模（会場・人数）で行い、話し合いは10人だけといった方法もあると思う。
- ・今回参加する10の方が講演の内容をしっかりと把握して前向きになれるような進行の仕方や話し合いの場をきちんと持っていただきたい。講演を聞いた後でネットワークを作ったり、来年度からはもっと広く行っていただきたいと思う。

【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）